

令和7年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

施設番号	66-0694
施設名	葛西おひさま保育園

1. 活動のテーマ

自然とともに

2. テーマ設定理由

園庭の木々や草花・虫などに興味を示す様子が見られる。草花や野菜・実のなる木を育てながら興味を広げ、身近な自然に触れながら関心を深めていくことを期待して設定した

3. 活動スケジュール

- ・10月、11月 栽培していた野菜等を観察し収穫、触れたり、スタンプにするなど自然に親しむ
- ・12月～冬野菜や実なる木の栽培、また自然に親しむ中で図鑑で調べる
- ・ドキュメンテーションを作成して振り返りを行う

4. 探求活動の実践

<活動内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子どもの姿や声、子ども同士や保育士との関わり等

・子ども達が観察しやすいように環境を設定し、いつでも栽培物を見ることができるようにした。

- ・栽培するための種や苗、ジョウロの準備
- ・園庭では虫や木の実の観察がしやすいよう、持ち運びのしやすい軽めのバケツを用意
- ・実のなる木を購入し、継続して生長を見られるようにする
- ・冬野菜の栽培の前には図鑑等で事前に学んだ。

・子どもたち同士で「ちいさな葉っぱが出てきてるよ」「こっちにも葉っぱがあるよ」と発見を伝えあい、栽培物の生長を共に喜び合う。

- ・「水をあげたら嬉しそうだね」と栽培物に親しみを込めた言葉が出てくる。保育士も大切に育てている気持ちが嬉しく、子どもの気持ちに共感し、「スナップエンドウとにんじんさん、すごく喜んでいるよ」と声をかけた。
- ・オクラや小松菜の茎を使ってスタンプ。「オクラはお星さまだね」「小松菜の茎は、お花みたい!」と様々な色や野菜の形を組み合わせ、画用紙いっぱい押し事を楽しんでいた。

「小松菜の茎を沢山押しすと、花火みたいに見えるよ!」
「青色と白色混ぜて色を作ってみようかな…」と発想が膨らむ姿も。

- ・活動の様子が分かる写真（2枚以上添付）



5. 振り返り

- ・振り返りによって得た保育士の気付き 等

・身近な自然に触れることで興味が増し、意欲的に水をあげたり、生長を
発見し友達と気づきや喜びを共有していた。身近な自然というところから始め
たこともあり、今までは気に留めていなかった自然の小さな変化に気づく姿も
見られるようになった。

・子どもの様子をまとめたドキュメンテーションを掲示することで、保育者の
振り返りだけでなく、子どもと保護者にとっても育ちや成長を目で見てそして
感じてもらえる大切なツールであると感じた。

・子どもの想像力や発想に驚き、また保育者も一緒にわくわくしながら取り組
むことができた。